

エクスカージョン A コース

富山で遊ぼう

【日時】 4月22日（金） 10:15～17:00

【参加者】 14名

【担当】 早川隆志

（NPO 法人 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊）

（1）「おわら風の盆」（旧八尾町）の町並みを歩く
JR 越中八尾駅に集合した後、ジャンボタクシーと中型タクシーに乗り込む。数ある町並みの中で人気の諏訪町通りで降車し、20分ほど歩く。この通りは「日本の道100選」に選ばれ、石畳が敷き詰められ、昔ながらの家構えがそのまま残されている。「風の盆」本番には、狭い家並みにおわらの反響音が、道の両脇に流れる「エンナカ」と呼ばれる用水の水音と相まって、最高の舞台を演出する。再びタクシーに乗り込み、子どもイタズラ村に向かう。

（2）子どもイタズラ村で遊ぶ
午前11時 子どもイタズラ村・遊酔亭に到着。NPO 法人 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊のスタッフ5名が出迎えた。簡単に亭内を見学した後、自己紹介を行う。早めに昼食を食べることにする。昼食は途中下車して買い求めた「幻の鱒のすし」（鱒の肉厚が1 $\frac{1}{2}$ ほどもある）とスタッフが囲炉裏で焼いた岩魚の串焼きだ。

12時30分からはいよいよ子どもイタズラ村の遊び流儀を早川たかしが指南する。

- i) 薪割り 斧を振り上げて角材を真っ二つに割る
- ii) 独楽回し 調理用ボール（直径40 $\frac{1}{2}$ ）にコマを一斉に投げ入れて、どのコマが最後まで回り続けるかを5人で競う。
- iii) 皿回し 大道芸の皿回しで遊ぶ
- iv) 釘ナイフ作り 5寸釘を炭が入っている七輪の中で真っ赤に焼く。その釘を金槌で叩く。何度もこの作業を繰り返すと、釘は個性溢れるナイフの形になる。砥石で鉛筆が削れる位になるまで鋭く研ぐ。
- v) ロープワーク（ブランコ作り） 2階に上り、梁からロープを2本垂らして、ロープワークで木の棒を結ぶ。簡易ブランコが出来上がる。一緒に遊んでくれたのは元消防士の千石典男さん。

あっという間に15時30分。片付けはスタッフに任せて次の見学地に向かう

（3）桂樹舎和紙文庫（八尾町鏡町）の見学

15時45分到着。世界の紙を展示し、桂樹舎で作る八尾の和紙工芸品を見学する。みんな珍しい紙工芸に驚きと感動。喫茶店も併設されているので、一休みもする。17時に桂樹舎を後にして、R 越中八尾駅に。そして、解散。

アンケート用紙から

- A氏 大人が遊ぶことの大切さを実感しました。
B氏 釘ナイフは本当に集中して、時間が経つのを忘れてしまうくらいでした。
C氏 ロープワークは非常時の生き残り行動に繋がるの

で、地元でも広げたいと思いました。

D氏 早川さんが長年大切にしてきた空間に触れ、子どもの樂園のような所だと思いました。

E氏 35年の歴史と実績が、古民家や周辺にオーラとなって感じられ、都市部の子どもにも日本の原風景として体験させたいと思います。

F氏 大人たちも楽しく遊べるようであれば、子どもに伝わらないと、大人はまってしまうような遊び体験をさせるイタズラ村のコンセプトは魅力的。G氏 数日間日常を忘れ、自給自足の生活をしてみたいくなりました。カラフルな障子が和モダンで素敵でした。私もやってみたいかった！

はるばる遠くからお越しいただき感謝致します！

（早川たかし）



「おわら風の盆」の町並みを歩く



子どもイタズラ村で遊ぶ、釘ナイフ作り

